

コウトウシラン

ぜつめつきく
絶滅危惧Ⅱ

| | |
|----|--|
| 学名 | Spathoglottis plicata |
| 科名 | ラン |
| 別名 | |
| 区分 | そうほんるい 草本類 |
| 分布 | や え や ま し ょ う 八重山諸島・アジアの熱帯地 い き 域・オーストラリア |



葉の形 かたち 被針形 ひしんけい

葉の縁 ふち

葉の先 さき

葉の種類 しゅるい

葉の付方 つきかた 東生 そくせい

葉の基部 きぶ

実の種類 みしゅるい 蒴果 さくか

花・萼色 はながくいろ 紫紅色 しこうしよく

説
明

山地の林縁や林道沿いに生育し、高さ 50-100 cm の多年生の草本で、根は堅く、根の茎は地表近くを匍匐しています。葉は4枚前後で長い柄があり、長さは50 cm前後で細長く、葉脈が目立ちます。紫紅色の花を多数つけます。